部旅券

査

証

及

V,

査

証

料

0

相

互

免

除に関

لح

ア

1

ル

ラ

ン

١,

政府

との

間

の

取

極

(略称)(アイルランドとの査証免除取)

極する日本国政府

昭昭昭 和和和 四四四 +++ 年年年 九九九 月月月 五一一 日日日 告対グアン (外務省 生ン 告 で 示 **才一六二号)**

日

1 (9)(7) (3) 効 (6)(5)(4)(2)(1)本 ル 力 側 発 ラ 滞 取 査 7 \Box \Box 交又 生. 玉 内 証 在 極 次 1 本 上 ۲, 及 の 査 又 法 免 期 ル 側 書 Ħ は 間 び 証 は 令 側 除 ラ の 公用 終 滞 \Box 時 の の の ン 査 了 的 在 遵 除 延 ۲, 証 上 守 外 旅 の 長 書 適 側 免 用 拒 券 の 除 次 查証 停 否 の 査 止 免 証 免 除 除 — 七 七一 Ţ

P

1

ル

ラ

ン

F

٤

0)

査

証

免

除坂

(--)

(在アイパランド日本国大東道からアイパランド外舎省までの口上書)

上日 書本 側 コ

(訳文)

口上書

通報する光栄を有する。アイルランド政府と次の取極を行なう用意があることを同省にアイルランド政府と次の取極を行なう用意があることを同省に所は、日本国とアイルランドとの間の旅行を簡易化するために、日本国大便館は、外務省に敬意を表するとともに、日本国政

くことができる。 大筒月をこえない滞在のためいずれの場所からも日本国に赴大筒月をこえない滞在のためいずれの場所からも日本国に赴事前に査証を取得することを必要とすることなく、継続して() 有効なアイルランド旅券を所持するアイルランド国民は、

査証 免除 の

い滞在のためいずれの場所からもアイルランドに赴くことが得することを必要とすることなく、継続して六筒月をとえな(2) 有効な日本国旅券を所持する日本国民は、事前に査証を取

査証免除

ことができる。 国に入国したアイルランド国民の滞在期間の延長を許可する 国に入国したアイルランド国民の滞在期間の延長を許可する 日本国の権限のある当局は、前記の条件で査証なしに日本

の 滞在 期間

できる。

することができる。
にアイルランドに入国した日本国民の滞在期間の延長を許可にアイルランドの権限のある当局は、前記の条件で査証なし

有効な外交义は公用旅券を所持するものは、その滞在が継続(4) アイルランド国民义は日本国民であつて、自国が発給した

(Note Verbale)

The Embassy of Japan presents its compliments to the Department of External Affairs, and has the honour to inform the latter that, with a view to facilitating travel between Japan and Ireland, the Government of Japan are prepared to make the following arrangements with the Government of Ireland.

- Irish nationals holding valid Irish passports shall be free to travel from any place whatever to Japan, for a stay not exceeding six consecutive months, without the necessity of obtaining a visa in advance.
- Japanese nationals holding valid Japanese passports shall be free to travel from any place whatever to Ireland, for a stay not exceeding six consecutive months, without the necessity of obtaining a visa in advance.

2

- (3) The competent authorities of Japan may authorize an extension of the period of stay of Irish nationals who entered Japan without a visa under the terms set out above. The competent authorities of Ireland may authorize an extension of the period of stay of Japanese nationals who entered Ireland without a visa under the terms set out above.
- (4) Irish or Japanese nationals holding valid diplomatic or official passports issued by the countries of which they are nationals shall be

VC

査証を取

得

する

それぞれ

Н ح

5

の査証 査証 免

の除

除 免 (5)職 本 とを必要とすることなく、 業若しくは他 日本 国又はアイルランドに自由に赴くことができる。 て六箇月をとえる場合であつても 国又は アイ ルランドへの入国 いずれの場所からも、 事前

ポ ーツを含む。 前に査証)に従事することにあるときは、 を取得することを要求される。 の生業を営み又は報酬を得る目的 一の目 1的が、 就 それらの者 で芸能 職 Ļ 自 ヘス 由

(6) 住 又はアイルランドに赴く日本国民に対し、 ぞれの国 前 記 時的 の査 の法令に服することを免除するものではない。 証 の若しくは永住 の要件の 免除は、 のための)、 日本に赴くアイルラ 及び出国に 外 国人の入国 関するそ ン ۱, 玉 居 民

の遵守 国内法令

(7)0 の入国又は ましくないもの)政府 日 . 本国及びアイルランドの権限のある当局 0 般的 自国 である VC な政策上 おける滞在の許可 か又は外国 不適当なものであるときは、 人の入国に関するそれぞれ を拒否する権利を留 は、 当該 自国 含者が

否滞入 在国

正の担に

次

証

(8)されるときは、 ·政府 :効であるものとする。 日から十二箇月の な査証を付与する権利を保有する。 査証を取 は、 個 得することが要求され 々の場合において、 その)期間 査証 内の ただし、 は 無 料 \vee かなる回 であるも 日本国 る場合に 回 限 9]政 数 のとし、 以府又は の入国 の入国 おいて か こについ アイ VC 査 5 証 ルラン が . て有 ても 付 5

> tive months. obtaining a visa in advance, even if their stay in Japan or in Ireland may exceed six consecu-Japan or Ireland without the necessity of free to travel from any place whatever to

- If their object in entering Japan or Ireland is to obtain a visa in advance remunerative purposes, they shall be required in public entertainment (including sport) for to take up employment or to exercise profession or other occupation or to engage
- 6 ing the entry, residence (temporary or the necessity of complying with the respective exempt Irish nationals proceeding to Japan, or The waiver of the visa requirement shall not parmanent) and exit of aliens laws and regulations of the countries concern-Japanese nationals proceeding to Ireland, from
- 3 otherwise ineligible under the general policy where the person concerned is undesirable or entry of aliens. of the respective Governments relating to the enter or stay in their countries in any cases The competent authorities of Japan and of Ireland reserve the right to refuse leave to
- 8 or Ireland, as the case may be, retains the entries within twelve months from the date of Visas, when required and granted, shall be right to grant visas valid for a single entry in issue, provided that the Government of Japan free of charge and valid for any number of
- 9 provisions in whole or in part temporarily for Either Government may suspend the foregoing

停時取 止的極の

用

定の全部又は

部

を

時的に停止することができる。

との £

(9)

ずれの一方の政府も、

公の政策上

0

理由により、

以

0

告するものとする。 ような停止は外交上の経路を通じて、他方の政府に直ちに通

とにより終了するものとすることを提案する光栄を有する。が他方の政府に対して書面により、三十日の予告を与えるこ一年九月一日に効力を生じ、その後は、いずれか一方の政府にとつて受諾しりるものであるときは、同取極は、昭和四十日本国大使館は、さらに、前記の取極がアイルランド政府

千九百六十六年九月一日にダブリンで

reasons of public policy. Any such suspension shall be notified immediately to the other Government through the diplomatic channel. If the above arrangements are acceptable to the Government of Ireland, the Embassy of Japan has further the honour to suggest that these arrangements shall become effective on 1 September, 1966 and shall thereafter be subject to termination by either Government on thirty days' notice given to the other Government in writing.

Dublin, 1 September, 1966.

、アイルランド外務省から在アイルランド日本国大使館

上ンア 書ドイ 側ロラ

(訳文)

上

あての口上書

確認する光栄を有する。 十六年九月一日付けの同大使館の次の口上書を受領したことを 日本国 一大使館に敬意を表するとともに、

外務省は、

(日本側口上書)

後いずれか一方の政府が他方の政府に対して書面により三十日 の予告を与えることにより終了するものとすることを通報する 同取極を千九百六十六年九月 つても受諾しうるものであること、及びアイルラン 外務省は、 大使館に対し、 一日から適用し、 前記取極がアイルランド政府 同取極は、 その ド政府は、

千九百六十六年九月一日

光栄を有する。

(Note Verbale)

Note of 1 September, 1966 which reads as follows: the honour to acknowledge the receipt of latter's its compliments to the Embassy of Japan and has The Department of External Affairs presents

千九百六

(Japanese Note Verbalc)

other Government in writing. thereafter be subject to termination by either effective on 1 September, 1966 which shall Government of Ireland and that the Government of honour to inform the Embassy that the arrange-Covernment on thirty days' notice given to the Ireland will apply the aforesaid arrangements ments set out above are acceptable to the The Department of External Affairs has the

lst September, 1966

アイルランドとの査証免除取極